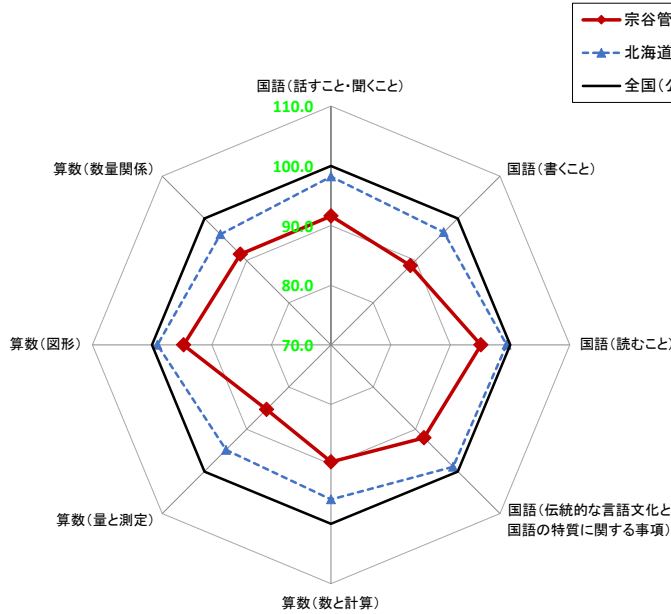


■小学校の状況(学校数:36校、児童数:462人)

【教科全体の状況】

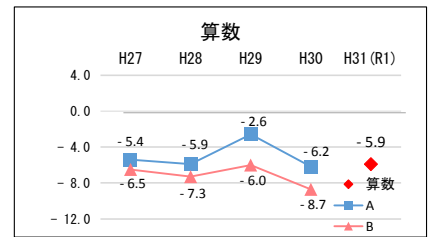
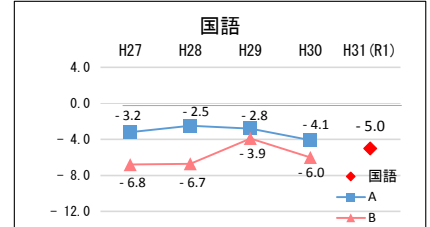
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率】

	国語	算数
宗谷	59[58.8]	61[60.7]
全国	64[63.8]	67[66.6]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

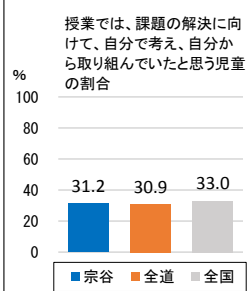


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

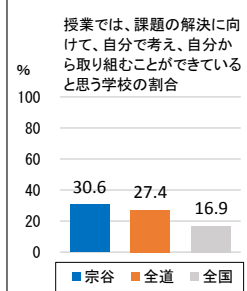
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

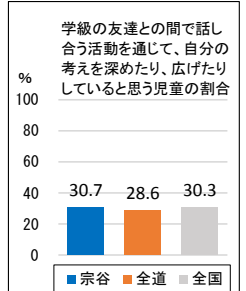
* 児童質問紙



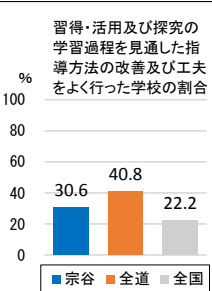
* 学校質問紙



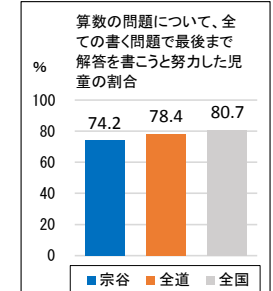
* 児童質問紙



* 学校質問紙

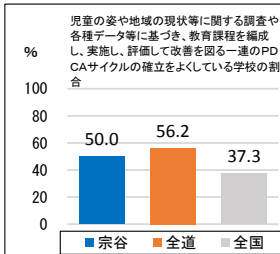


* 児童質問紙

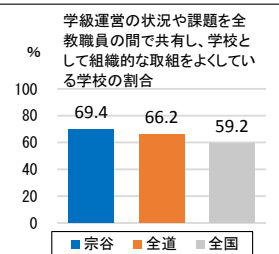


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

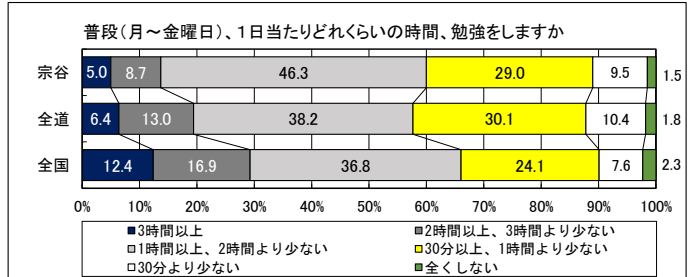


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



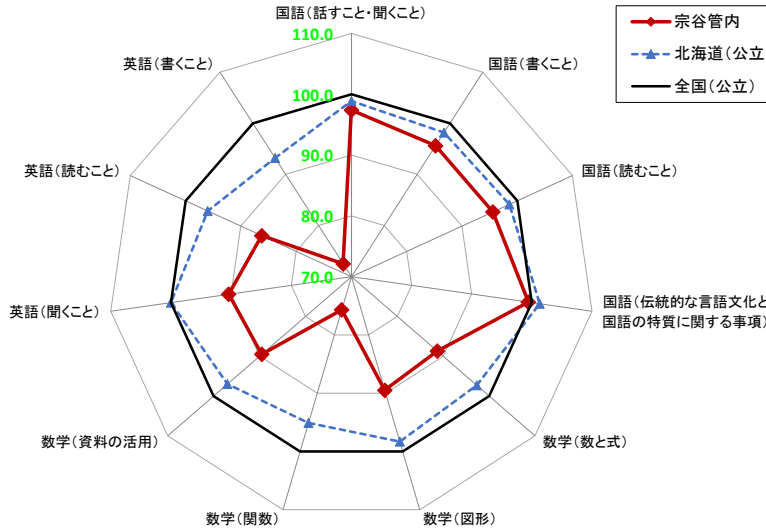
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語、算数の全ての領域、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童の割合が、全国を下回っており、課題である。 ○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成・実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合が、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内で統一した学習過程等に基づき、授業の目標や学習課題を明確に示し、学習課題を達成する学習活動を行うことやまとめと定着を確認する時間を設定することなどを徹底する必要がある。 ○ 学校の重点や具体的な取組及び評価方法を位置付けた「学力向上プラン」を作成し、学期ごとに評価するとともに、教職員はもとより保護者や地域住民と共通理解を図りながら、一体となった取組を推進する必要がある。 ○ 学習習慣の定着に向けた時間の目安や学習の進め方などを校内で統一し、学期ごとに進捗状況を把握して、取組の改善充実を図っていく必要がある。

■ 中学校の状況 (学校数: 22校、生徒数: 476人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

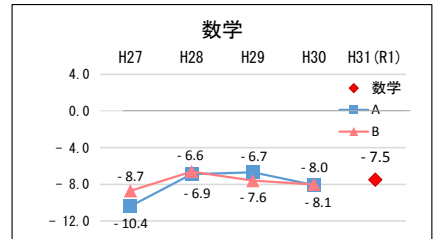
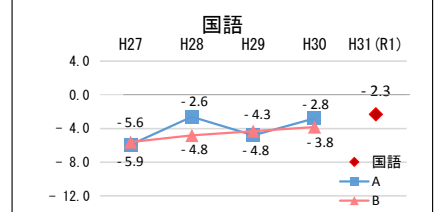


【平均正答率】

	国語	数学	英語
宗谷	71[70.5]	52[52.3]	47[46.8]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

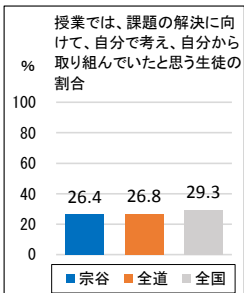


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

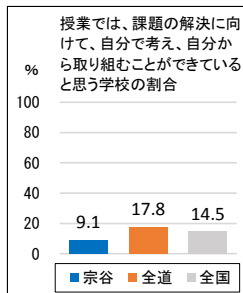
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

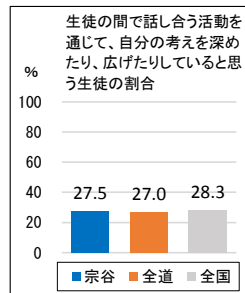
* 生徒質問紙



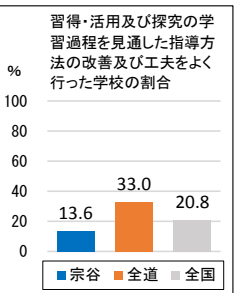
* 学校質問紙



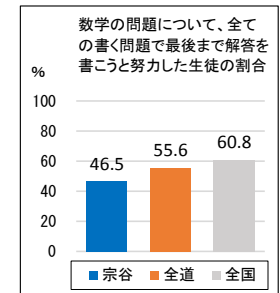
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

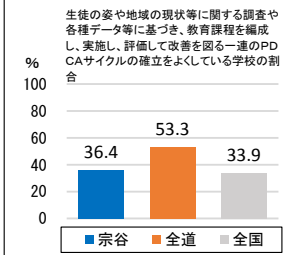


* 生徒質問紙

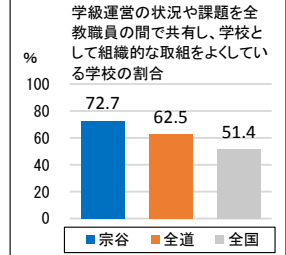


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

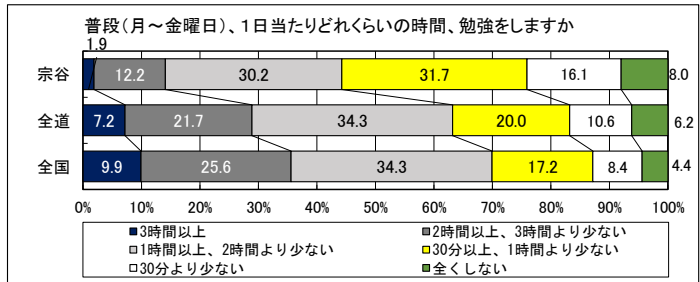


* 学校質問紙



学習習慣

* 生徒質問紙



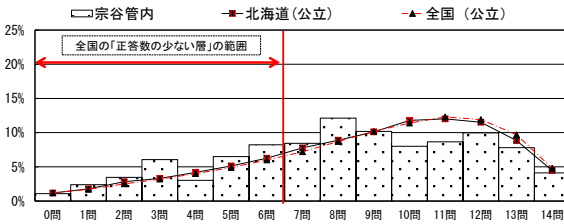
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語、数学、英語の全ての領域、習得、活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合が、全国を下回っており、課題である。 ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成・実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合が、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内で統一した学習過程等に基づき、授業の目標や学習課題を明確に示し、学習課題を達成する学習活動を行うことやまとめと定着を確認する時間を設定することなどを徹底する必要がある。 ○ 学校の重点や具体的な取組及び評価方法を位置付けた「学力向上プラン」を作成し、学期ごとに評価するとともに、教職員はもとより保護者や地域住民と共通理解を図りながら、一体となった取組を推進する必要がある。 ○ 学習習慣の定着に向けた時間の目安や学習の進め方などを校内で統一し、学期ごとに進捗状況を把握して、取組の改善充実を図っていく必要がある。

宗谷管内

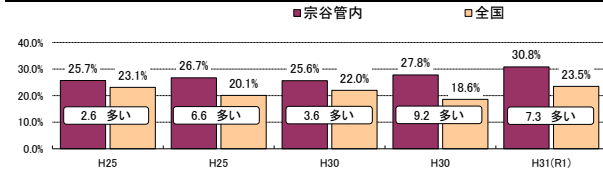
小学校国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
宗谷管内	462	8.2 / 14	58.8	8.0	3.5
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4



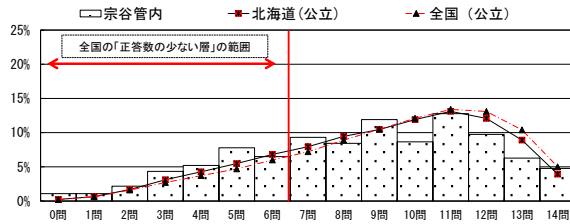
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



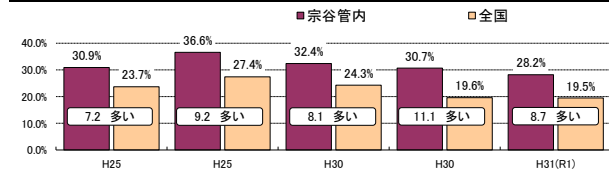
小学校算数

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
宗谷管内	462	8.5 / 14	60.7	9.0	3.3
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1



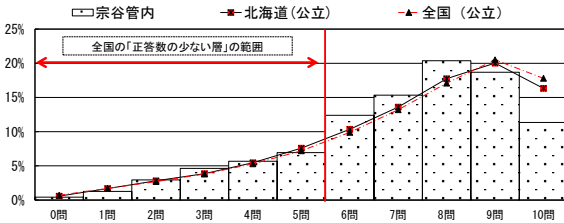
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



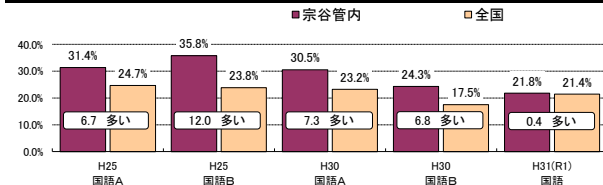
中学校国語

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
宗谷管内	476	7.0 / 10	70.5	8.0	2.2
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4



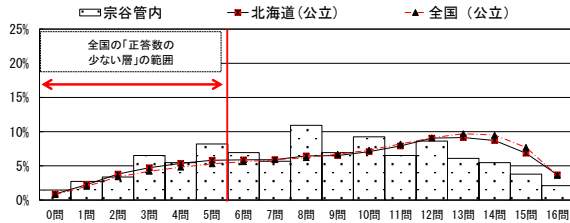
●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



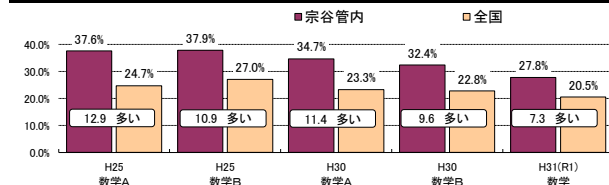
中学校数学

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
宗谷管内	476	8.4 / 16	52.3	8.0	4.0
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



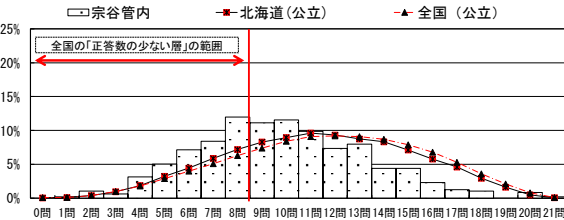
●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



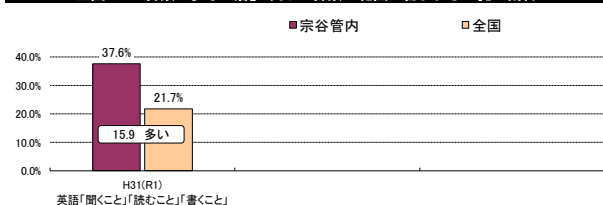
中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
宗谷管内	476	9.8 / 21	46.8	10.0	3.5
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9



●全国の「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



【参考】【平成28年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A		小学校国語B	
宗谷管内	全国	宗谷管内	全国
22.8%	21.3%	41.5%	29.8%
全国との差 1.5 多い		全国との差 11.7 多い	

小学校算数A		小学校算数B	
宗谷管内	全国	宗谷管内	全国
36.4%	24.2%	28.1%	20.0%
全国との差 12.2 多い		全国との差 8.1 多い	